

きーのありふら山崎(後)はまき 井眉
 暮風の先くしうろく路うき 屋島
 無造りく暮きく候一様 登真
 庭をゆく足色松杉春ゆき 世南
 二三日小松の中も色采あり 鶴筆
 きりの日も二日二わりん松竹 琪基
 板入して暮の氷り 植根う形 秀穂
 梅うまき野あけきり藤紀うき 芦月
 雪の神言うてらう二夜もあけ 翠雲
 佐保姫の髪も雪と一糸の雪 芦笛
 暮さき暮のこのあり路うき 燕子
 暮のあはれれくうき暮きうき 松籟
 梅折にけりハ澄うけ 養うき 篋水
 本巻の白ふ里あけくうきのむ 里地
 ありうろく有う寸暮の梅うき 其昌
 うろくや垢のあけたき暮の暮 草叔
 物ともすきても暮きうき 風車
 梅折舟やあかんあけやあかん 完基
 きりふえー 毎二又あけきり 芦文
 梅う折れくも暮それも暮あけ 万里
 老ふふふもあけくーあけの中 棠和
 正月の目く白ふあけきり 梅存
 毎日うりあけ暮あけ梅うき 冨子
 暮のあけ文くくええて水の音 三千里
 毎吹や路うりうきくきの存 一枝
 目と色せき暮新暮り梅 壽州
 田の耕のは族下り梅 梅屋
 暮のあや藤とくうき猫の親 春暉
 暮き暮き日けすいけや暮る暮 瑞雪
 暮の戸や蚕の棚うき 雛 皎兮
 暮のあけ早うりまけりやけの暮 子兮
 暮に入る暮暮きく梅桶乃水 朗春
 春の夜をつくもあけくうきの路 大眉
 ○
 十日たけ暮し暮しや冒糸の折 子臺
 ほけ火火を回し梅くれハ梅屋 蒼胤

うろくすの命き冷き暮き暮き 日也 始也
 命をくあ子も路先う暮き 佑辰
 如月の大雪ふさく板うき 子葉
 梅うりうきくく目くう林うき 草瑞
 山吹も葉うきや滝乃形 龜山
 芭蕉舟ハ目それりり暮の月 味石
 舟をりも用きくや木底暮き 習風
 梅うりうきく多きくふ三日 大敬
 山の日のさす如月の植根うき 車三



冬秀

